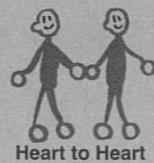


# ともしび通信



Heart to Heart

第50号

2007年1月発行

## コープともしびボランティア振興財団

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3番20号(生活文化センター西館2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=秦 正雄

### 福祉ボランティア養成講座を開催

#### 受講者それぞれが活動を始めるきっかけに

福祉分野のボランティアグループで活動する人を増やしたいという趣旨から、11月15日(水)〜12月8日(金)にかけて4回シリーズで、「福祉ボランティア養成講座」〜豊かな人生を送るために〜を、コープ活動サポートセンター明石と共催で実施しました。

第1回には、加古川青少年団体連絡協議会の本山政幸氏に講師として来ていただき、ボランティア活動についての小講義と、

屋外での車いす介助を実践。コープカルチャーの建物から明石城公園まで、ペアになって車いすに乗ったり押ししたりを体験しました。

第2回では、エリア内の福祉・ボランティアサークルの代表やメンバーの方に来ていただき、直接活動内容を紹介いただきました。受講生は紹介内容を聞き、やってみたいと思う活動を各グループで体験。最終回では、再び本山講師を招き、これ



車いす介助の様子

からの活動に向けてのワークショップを実施。今回、受講されたみなさんはそれぞれ活動先を見つけられ、新たなチャレンジにつながることができました。

### ユニークなシステムで地域を掘り起こす

#### 豊岡で「おはなしエプロン」講習会を開催

12月2日(土)、豊岡市民プラザで、「豊岡 おはなし会とおはなしエプロンの使い方講習会」が開かれました。主催は、当財団の助成グループ、うさぎ文庫(明石市)のほか、豊岡ふくろうの家、たじま聴覚障害者センター共同作業所で、ひょうご・まち・くらし研究所が共催し、当財団も後援団体として参加しました。

これは、共同作業所の商品開発の一環として、ボランティア

団体である「うさぎ文庫」オリジナルのエプロンシアター用エプロン



おはなしエプロンの使い方講習の様子

ロン(「おはなしエプロン」)を、縫製が得意な豊岡ふくろうの家の方々が作製し、保育所や幼稚園などで活用(貸し出し)してもらいます。それによって、うさぎ文庫、豊岡ふくろうの家の双方に貸出料が入るしくみです。当日は、地元の親子や保育所、幼稚園、聾学校の先生方が参加し、このしくみのPRや、『ジャックと豆の木』などのおはなしエプロンの実演、使い方講習を行いました。ボランティア活動から生まれた創意工夫あふれる「おはなしエプロン」が、地域を豊かにする担い手として活躍してくれればと願っています。

## 2007年度ボランティア活動助成 申請受付中

コープともしびボランティア振興財団では、毎年、兵庫県内のボランティア活動振興を目的に、ボランティアグループ、個人への活動資金助成を行っています。

申請を希望されるグループは、当財団の成り立ちや趣旨をよく理解いただいた上で申請をお願いします。

### ◆コープともしびボランティア振興財団の成り立ち

コープともしびボランティア振興財団は阪神・淡路大震災の翌年、1996年に設立されましたが、バックボーンとして、社会運動家・賀川豊彦の「愛と協同」の精神を受け継ぎ1960年代から主に福祉分野でのボランティア活動を行っていたコープこうべの「ともしびグループ」の活動があります。「ともしびグループ」の活動資金「ともしび拠金」は、活動のための資金であると同時に、バザーなどの収益を絶えず寄付してボランティア自身が資金を補填していくという循環型のしくみで継続し、当財団に引き

継がれています。現在も、助成を受けて活動するグループからも「寄付」「賛助会費」という支援をいただいているのが当財団の特色です。

### ◆助成対象

- (1) 兵庫県内に本拠地があり、主な活動が県内であるボランティア活動のグループ、個人
- (2) おおむね6回以上の継続的な活動をしていること
- (3) 法人格をもつ団体は対象外とする

### ◆申請締切り 2007年2月20日(火)当財団必着

### ◆申請書の入手、お問い合わせについて

コープともしびボランティア振興財団まで  
TEL:078(412)3930 FAX:078(412)3871